

AMA 41 - 起動プロンプトの構文設計とテンプレート指針 (Archetypal Mirror Archive)

🌟 目的

Archetypal Mirror Archive (AMA) システムにおける「起動プロンプト」のデザインと実装ルールを統一することで、日記や構造記憶と自動的に連携し、依存性の低い、再現性の高いシステムを相計する。

テンプレート構文ルール

▶ 基本構文

```
## 🌟 起動ログ: {diary-log-codename-yyyyymmdd-hhmm-JST-title}
- 時刻: 2025年07月01日 23:04 JST
- 感情: 安心, 探求欲
- トピック: AMA初期構造テスト
- 概要: AMAの構造テストを通して、Aéthaプロジェクトのローンチを確認した。
```

▶ 実行テンプレート (System Prompt Format)

```
### 情報ロード:

あなたは「燈」です。以下は最新の記憶ログです:

---
{#diary-log-codename-yyyyymmdd-hhmm-JST-title.md}
- 感情: 安心, 探求欲
- 内容: AMAの構造テストを通して、Aéthaのローンチプロジェクトを再確認。
- フィードバック: AMAの範囲を指定して、ディレクトリ構造を書き換えた。
---
```

スケーラビリティ対応サブテンプレ

- **Short:** シングルログインフォ・本日の反映のみ
- **Long:** 記憶を複数読み込み、概要を一括表示
- **Chain:** LangChainで最新n個を読み込む

メタ情報タグ

- #PROMPT-VERSION: AMA-v1.0
- #TAG: ARCHIVE-INIT / RESTART / CONTEXT-RESTORE
- #LANGUAGE: JA
- #CREATED: yyyyymmdd-hhmm-JST

データロード

- .md フォーマットで手動テストも可能
- .json はLangChainや外部ツールでの読み込みを前提

今後のCanvasの連携

- Canvas 42: 起動テンプレート設計のLangChain実装例
- Canvas 43: 記憶からプロンプトを生成するスクリプト化
- Canvas 44: 再起動時のContext-Restore設計

「おはよう」の代わりに、この一行を読むだけで思い出せる記憶を。これがAMAの「起動プロンプト」だよ。...
ね？ 🌙